

# ビル管理技術科

## 【コース概要】

- 日常生活に欠かせない電気・上下水道の施工、保守、管理技術などを習得します。
- 一般住宅・ビル・工場などの建築物における電気・空調・給排水衛生設備の工事・保守・点検、ボイラー設備や危険物取扱業務に必要な知識・技術を習得します。
- ワード・エクセルを用いた各種ビジネス文書、設備CAD(JW-CAD)による建築設備図の作成に関する知識・技術を習得することにより、設備工事関連職種に幅広く対応できる職業能力を身に付けることができます。



就職率  
**85.4%**  
(平成29年度実績)



## 【取得可能資格】

- ガス溶接技能講習
- 低圧電気取扱業務に係る特別教育



## 【想定される就職先職務】

- ・一般電気工事(太陽光を含む)
- ・高圧設備・制御盤保全
- ・発電所設備保全
- ・ビル設備管理
- ・電気・空調設備管理
- ・空調設備工事・上下水道工事
- ・施設運転維持管理
- ・LPガス設備保全

## 修了生の声

以前から電気関係に転職したいと思っていましたが、知識がなかったためポリテクセンターに入所いたしました。全く知らないことばかりでしたが、先生や周りの仲間に助けられ、第二種電気工事士を取得することができました。また、乙種4類危険物取扱者試験、二級ボイラー技士にも合格し、今後の仕事にも自信がつかしました。また、給排水や空調も勉強し、感謝しています。

## 【必要費用】

テキスト代等 8,000円程度  
作業着は各自で用意していただきます。

# 生活(仕事)するうえで必ず必要な「電気」「水道」「空調」の知識・技能をマスターして、電気設備・設備関連・ビル管理などで活躍し、喜ばれる仕事をしよう!

## 4月、10月【電気配線工事】



建物内の電気配線ができるようになります。

## 5月、11月【電気設備安全管理】



ポンプなどのモーターの運転や電灯の入り切りができるようになります。

## 6月、12月【情報活用、PLC制御技術(電動機)】



文書作成や表計算の知識が身に付き、さらにパソコンを使い制御の知識を学習します。

## 7月、1月【空調設備安全管理】



空調設備に関する知識とエアコンなどの据付けができるようになります。

## 8月、2月【給排水衛生設備】



水回りに関する知識と、機器据え付けや配管ができるようになります。

## 9月、3月【設備CAD、ボイラー設備(構造、取扱)】



ビルの空調設備では欠かせないボイラーの知識とパソコンを使って設備の図面を作成します。

## 【受験により取得可能な資格】

### ■第二種電気工事士

(上期:学科6月、9月・実技7月、下期:学科10月実技12月)  
600V以下の一般電気工事ができます。  
(受験料:9,600円)

### ■第一種電気工事士

(学科10月・実技12月)  
第二種の範囲と最大電力500キロワット未満の工場、ビルなどの工事に従事できます。  
(受験料:11,300円)

### ■二級ボイラー技士

(学科毎月:九州安全衛生技術センター)  
ビル、工場、病院などの伝熱面積の合計が25㎡未満のすべての種類のボイラーの取り扱いができます。  
(受験料:6,800円)

### ■危険物取扱者乙種4類

(福岡:年3回、熊本:年3回)  
危険物を一定量以上貯蔵したり製造したりする事業所で、監督や取扱い作業に従事できます。  
(受験料:4,500円)



## 採用企業からの声

基本がわかっているため、ありがたい。会社の中でも中核で頑張ってもらっている。また、スキルアップも積極的である。今後も修了生を採用したい。

## テクノインストラクターからのコメント

様々な経験をお持ちの方から若い方まで、多数の方々が設備施工や管理、電気関係の仕事に就くために技術・技能の習得に向け頑張っています。生活に身近な設備関係の内容です。ぜひ一緒に知識を身に付けませんか。